

湘南里川づくりフォーラム2017 株式会社ティラド発表 ～ティラドの生物多様性の取り組み～

○ 株式会社ティラド概要

今回ご発表いただいた株式会社ティラド様は、自動車用・空調機器用・燃料電池用などの各種熱交換器を製造・販売している専門メーカーです。

本社は東京ですが、金目川流域である3市の1つ、秦野市にも営業・技術本部と製作所があります。

持続可能な社会の創造への貢献を基本理念とし、毎年様々な社会・環境活動（CSR）を行なっております。

生物多様性の取組の一環として、2012年3月から湘南里川づくりみんなの会の賛助会員として会をご支援いただいております、みんなの会とも密接な関係にある企業です。

○ 発表「ティラドの生物多様性の取り組み」

以下、発表の概要についてご紹介します。

1. (株)ティラドの紹介

国内に秦野・名古屋・滋賀計3ヶ所の拠点をもち、海外数ヶ所にも展開し、グローバル化を進めている。主な製品は熱交換器で、その設計・開発・生産を行っている。

株式会社ティラド及びティラド・グループは、世界 No.1 熱交換システムメーカーを目指し、従業員一人一人が環境への優しさを優先して、環境及び生物多様性の保全と自然保護に取り組み、豊かで明るい社会の発展に貢献することを環境理念とし、2021年度にはCO2削減貢献量がCO2排出量を上回ることを目指している。自社商品では、例えばハイブリット車に多種多様な熱交換器を搭載することで、CO2削減に貢献している。

2. 生物多様性への具体的取り組み

川の淡水が飲料や工業用水になり、工業用水・排水は排水先の生き物に影響を与えるなど、ティラドの事業活動は生態系サービスと相互に関係している。自然の恵みを受けて、豊かな社会が続き、企業活動が持続するように、生物多様性を守る活動を行なっている。

具体的には、

- ・グリーン購入、コピー用紙や梱包層の削減
- ・オキナグサなど日本在来の植物の保全
- ・グリーンカーテン、ライトダウンなど
- ・ビオトープ池設置、秦野のメダカ保全、水使用削減

- ・赤松林に木材チップを利用した憩いの道を設置
 - ・廃棄作業服のリサイクル、梱包材の再利用
- などである。

3. 葛葉川保全の具体的取り組み

湘南里川フォーラム 2016 の全体意見交換会で、企業の取り組みに関する意見が出てきた。それを受け、地域の企業としてできることはないか、ティラドの取り組みを近隣住民に知っていただきたいと思いがあり、今回葛葉川保全の具体的取り組みを発表させていただくこととなった。

ティラド秦野製作所は葛葉川沿いに位置しており、排水も葛葉川に流している。

この葛葉川の環境を保全するため、具体的には

- ・生產品の材料を替えることで、環境負荷の高い生産工程を廃止
- ・水使用量の削減
- ・水質の改善（排水の改善のほか、植物性ハンドソープに切り替えるなど）
- ・化学物質の排出・移動量の削減
- ・排水を利用したビオトープ池の設置（排水前に水の安全性を証明するため）
- ・排水先の川を清掃

などの取り組みを行なっている。



○ 質疑応答

[参加者]

地元の企業がこのような活動を行なっていることを初めて知った。

質問が2つある。まず、ビオトープはなかなかうまくいかないと聞いたことがあるが、ティラドではどうしているのか。また、周辺の他の企業はこのような活動を行なっているのか、企業間で交流などあるのか教えていただきたい。

[ティラド]

まず、ビオトープについて、排水処理を利用して水を入れ、生物に影響を及ぼさないか確認することで、水の安全性につながっている。企業としてそういうつながりを持ちながらビオトープを作れば、会社の中でも理解が深まると考えている。

また、周辺企業の活動について、「くずはの家 えのきの会」で支援している子供向けの環境教育「はだのエコスクール」に、秦野市域の企業が4～5社参加していると聞いている。



※ 株式会社ティラドに関する詳しい情報は、同社公式ホームページでご覧いただけます。

URL : <http://www.trad.co.jp/>